

339

327

ブラジル国移民事情

国立国会図書館



始



49643

33

327

ブラジルの國移民事情

松村公使報告中略

廣 告

ブラジル國行家族移民募集

氣候も賃金も好し

將來有望なる殖民地

好機逸するなかれ

山口縣玖珂柳井町停車場通り

竹村殖民商館出張所

339-327

著 言

我目下移殖民界は、濠洲は全然移民の入國を禁じ、北米合衆國又入國禁止の姿となり。南洋諸島は賃銀低廉にして邦人に適せず、只好個の移殖民地としては、南米「ブラジル」あるのみ。然るに世人「ブラジル」の事情に暗く、爲に世界の寶庫を見ず見す外人に專有せられ、遺憾に堪ず。依て爰に前「ブラジル」國駐劄杉村公使報告にして、外務省發行伯刺西爾國移民事情附貿易狀況書より飾りなき「ブラジル」國情の大様を抜萃記載し如何に有望なる移殖地たるかを知らしむべく發行せり。

大正二年初冬

大正
2. 11. 29
内交



ブラジル國移民事情目次

- 一 伯國移民の概観……………一
- 一 伯刺西爾國の移民歓迎并にサンパウロ州に於ける移民の方法……………二
- 一 伯國の富源并に獨逸移民の狀況……………八
- 一 伯國サンパウロ州の事情……………一八
- 一 サンパウロ州に於ける移民情況總況……………二四
- 一 サンパウロ州の地理、風土……………二七
- 一 サンパウロ州の移民の必要……………三〇
- 一 珈琲耕地及移民生活の情況……………三六
- 一 「ブラジル」に渡航せんとする者は(參考)……………四九

伯刺西爾移民事情

伯國移民概観

當伯刺西爾國は北部パラ州に於ける護謨の採收、中部ミナス州に於ける鑛山の採掘等は何れも勞働者を要するも、氣候並工事の点に於て實地調査を経たる上ならでは未だ何等の見込を立つる能はざるも、姑く本邦移民には不適當と臆斷せざる可からず。南部温帶地の農業に至ては木越公使の報告にも云へるが如く、移民は歐洲人多數に上り、就中獨逸移民陸續渡來して、各州に根據を占め、サンパウロ州の如きは伊國人のみにて其數數十萬人もありと、尙近來の調査によれば、伯國全體に於て伊國人百萬、獨國人三十萬、西班牙人十萬、奧國人十一萬、波蘭人八萬（以上は重に南部と知らる）葡國人八十萬、佛國人壹萬、英國人五千、米國人

(一)

(二)

五百、其計二百七十六萬五千人にして、伊國人の南部にあるもの「サンパ
ウロ」州に六十五萬、南リオ、グンデ州に十八萬、サンタ、カタリナ州に二萬
五千及「バラナ」州に二萬五千なりと云へり。右の事情に付南部伯刺西爾
は既に歐洲人の移民に適當し、且つ今後とても各國競て移民を勸むる
形迹あれば、我移民にも決して不適當にあらざるものと認めたり。

當伯刺西爾國の移民歡迎並に「サンパ ウロ」州に於ける移民の方法

本官圖書捧呈の爲め大統領閣下に謁見の際、同閣下より餘談として
移民の事に及はれ、其後大藏大臣訪問の際に同官より我國は人口不足
に付何卒日本殖民地を作ること盡力を請ふとの談話ありしにより
本官より若し日本移民を招来せんと欲せば先づ日、伯兩國間に航路を
開かさるべからず、然るに航路開通は一の困難事件なれば斯る場合に

(三)

は貴大臣の幫助を請はさるべからずと相答へたり。要するに當國は疆
土廣く富源多きも人口不足の爲め之を開發する能はずと云ふは一般
の輿論と認めたり。其後「サンパウロ」州巡回の際同州の官民とも熱心に
本官に向て日本移民の誘入を懇請し、殊に當局なる同州の農務長官並
に重なる農場主は本官を導て移民收容所は勿論、遠く内地に於ける各
農場を巡視せしめ、且つ移民誘入の方法に就ては皆胸襟を開て懇談に
及びたり。因て考ふるに右の如く當州が我移民の誘入に熱心なるは大
概左の四点に出でたるが如し。

第一、内地の農業開發に付益々多く耕夫を要すること。

第二、從來は伊國移民に依頼したるも、伊國人は不潔、且つ多くは出稼
的にして往來常なき爲め珈琲收穫時期など多數の労働者を要
する際耕主等往々困難を感ずること。

第三、伊國政府は契約移民の渡來を禁じ、之が爲め當州は殊に移民の

(四)

拂底を感じたること。

第四、歐洲各國、殊に某國の如きは移民の誘入と共に其の勢力を扶植せんとする底意あるに付當州政府は之を悦ばざること。

右は各方面より推量し得たる結果にして、日本移民の歓迎は決して假装的にあらざるものと信せられたり。

扱又「サンパウロ」州に於ける歐洲移民は如何なる方法にて労働に従事し、如何にして其生計を立つるやは、一般の報告中に之を詳述すれば、茲に之を贅述せず、但其大略左の如し。

第一、珈琲場主又は其他の農場主(甘蔗、米等)に雇はれ又は其小作人たること。

右は雇主又は地主より家屋(四五十坪の後園付)を給し、甲は雇主の爲め労働せし外自家の耕作に従事し又は家畜の牧養を務め、乙は地主より小作人の收穫物を定めて買上くる仕組なり。

(五)

第二、政府より一定の未墾地を拂下げ(十二エクタール)の地にて「エクタール」は我三千六坪強とす之を開墾すること。

右地價は極めて低廉にして、最初内金若干を納めしめ、家屋は現今計畫の分は政府より之を給するも、今後は木材のみ無價にて給し且つ初期收穫迄の間は政府より相當の食料を貸し與へ、前記の地價未納額家賃及食料とも成墾の後年賦にて返納する仕組なり。

第三、資本家と労働者と申合せ、適當の土地を拂下又は買入れ之を開墾すること。

其他浮遊労働者としても、高價の賃銀にて雇口を求むること難からざるべし。但し當州政府は此等労働者を好まず。

此等歐洲移民は最初一文にて渡來するも以上の方法に従て本國に在るより多額の賃銀を得、裕かなる生活を爲し、其の餘分を本國に送

(六)

金するこゝなれば、埃國政府の如きは、國家經濟上移民の送金を利益と認め、今回移民經驗ある領事をサンパウロ州に移し、益々之を送る計畫中なり。又移民の多き所は貿易も隨て開け行くこと自然の勢ひにして、伊國の貿易は當國に向て著しく増進せり。前陳歐洲移民の例に依り一概に之を云ふときは、本邦人は獨、埃人より生活程度低く賃銀も廉なれば、獨、埃移民の満足して成功する所には、本邦人は必ず成功し得べき道理なり。

假令其距離は之に倍するにせよ、旅費の全額又は過半は當州政府より之を償給する事なれば、彼等に比較して大なる不利益なきものと確信せられたり。唯一の難問題は従前の出稼的契約移民を變して、永住的家族移民となす事是なり。假令本邦人中多少の永住的家族移民を希望するものあるも、之を周旋誘導する人なければ行はれ難からん、而して我移民會社中にも其勞費を惜まずして、新移民地を開かんとするもの

(七)

を求むるは蓋し容易にあらざるべし。乍去一の先達者ありて最初に試験的移民を送り、而して彼等移民に於て自ら試みたる後氣候溫和にして健康に適し、土地豊穰にして立脚の容易なるを悟り、或は書を飛ばし或は歸國して、其親戚朋友を招く時機に達せば、假令家族移民に限り、旅費を償給する法規を勵行することも、移民は陸續として渡米すべし、近年北米行熱心者の多きも同様の事情より來りしものと信せり。

而して當州に於ける前行の事情より推斷せば、若し本邦より移民を送る場合に於ては縱令家族的移民ならずとも容易に一定住所を離れざることを示すを得ば、船賃幾分の補助を受くること又望なきにあらずと信せらる。

試験的移民を送るには、如何にせばやと云ふに、渡航船舶に關する問題をば後に譲り、差當り有志家に於て、サンパウロ州移住希望者幾人若くは幾十人語り合ひ、恰も米國「テキサス」州渡航の如く自由移民として

(八)

單身又壯健の夫婦一團となり、漸く冷氣に向ふ四月頃の到着を見計ひ渡航すべし、或は移民會社中當初の勞費を惜まず實直に永住的移民地を開かんとするものあらば、其會社に任ずるも可ならん、而して移民地に置くべき代理人には本業の側ら貿易に従事せしむるも、若くは單に移民の需要品を取扱はしむるも其滞在費を償て餘りあるべし。要するに當初着手の際多少の勞費を投せば事業は永く繼續して許多の利益を收め得べきものと信せられたり。是れ移民有志家若くは移民會社等に向て一顧を煩はさんと欲する所なり。

伯國の富源並に獨逸移民狀況

伯刺西爾は其廣袤の大なるは勿論、天富の無盡藏なるは(所聞に據る)南米諸國の中に在りて第一位を占むるのみならず、世界に國するものの中に於ても蓋し第三位以下に下らざるものと認めたり。其面積の大

(九)

なる實に八百三十三萬七千二百十八基米突平方にして、之を我日本に比すれば約二十一倍大なり(日本は四十一萬七千四百十二基米突也)然るに其富源の開發未だ其緒に就かざるもの多く、佳木良材の鬱叢たる山林は空しく斧斤の入るを待ち、沃野千里、耨の觸るゝ處、蒸々たる收穫あるべき膏土も徒に雜草の繁茂に委し、金、錫、マンガン、ネー、特に金剛石其他諸種の有價寶石を潜藏するの鑛山も亦未だ之れが採掘に着手する者なく無限なる天與の惠澤をして空しく長く顧る者なきの有様に委せられたり。要するに其の重なる原因は開國已來年所を経ること少きと、廣漠たる領土は熱帯に跨り、移住者を躊躇せしむるを以て人口稀少、勞働者欠乏し、起業家をして空しく手を拱せしむるものと推測せられたり。伯國人口最近の調査によるに、其數僅かに一千四百三十三萬三千九百十五人に過ぎず、之を本邦に比するに凡十分の三なり(我人口四千七百六十萬〇八千八百七十五)故に一基米突平方の人口は我國に在

ては百十三人の比例なるに、伯國は僅かに一人七分に過ぎず、之を我邦に比すれば人口の稀疎なること約百分の一強なり、若し試に伯國面積に日本に於ける人口の割合を以て人民を移殖せんには尙ほ新に九億三千三百七十六萬八千四百十六人の大數を入るゝを得べし。伯國廣袤の濶大にして、其人口の稀疎なるは之を以て明知し得べし、又氣候の如きも海岸又河岸の低地こそ極熱凌ぎ難きも、リオ市の如きは極熱と稱するも猶ほ七八十萬の人口あり、内地の高原は温和にして、歐人の居住に差支なしと云へり。されば伯國中央政府は夙に茲に見る所あり、務めて外人の入國に便宜を興へ、特に歸化法の如きは其手續を簡にし、以てその人口を増加するに努め、聯邦各政府又移民の來航を獎勵するに拘はらず、此の二三年珈琲恐慌の爲め歐洲移民の來航者大に減少し、且つ兩年來伊國政府が同國民の契約移民として來伯するを禁せしより、伯國は現に労働者の欠乏に苦みつゝあり、故を以て「サンパウロ」州の如き

一時中止せし移民補助費を復活して、昨年末より葡西兩國の移民に對し二十年以上の男女には五磅、二十以下の男女には二磅十志づゝの渡航費を興へ、以て移民の來航を獎勵せり。右は二三年來同州の珈琲耕作は其生産過剰なるか爲めに同耕作に對しては暫く移民を獎勵せざるも之に代て、近年同州が採用せし多種耕作の爲めに要する労働者なり加之近年「リョ」及「パピヤ」に於ける築港工事並に其他市區改造、鐵道布設等の大土工類に各地に起りたるが爲めに多數の労働者を要するのみならず、從來の労働等は比較的賃銀少なき田野耕作を擲ちて、都市に於ける土木労働に走るを以て、さなきだに労働者の不足せる同州の如きは俄かに其必要を増せり。

伯國が移民の招來を必要とする所以のもの夫れ此の如し、されば從來の如き珈琲耕作の爲めに來れる契約移民は兩三年來大に減少したるも、都市の労働者として來れる自由移民の數は必ずしも前年に比し

て減少せるにはあらず、特に獨逸自由移民の如きは其數極めて多しとす。茲に獨逸移民と葡萄牙、西班牙及伊太利移民と其性質の相異なる點を知るは極めて必要と認めたるに付、左に其大要を掲げんに葡、西、伊三國の移民は専ら數年間の出稼を以て目的とし、最も其中には永住者も尠からざるも、獨逸移民は渡航の初めより既に伯國永住を以て目的とする者なり。獨逸移民には家族的移民多きを占め、葡、西、伊國移民には壯男獨身者多きは必然の結果なりとす。後者三國の移民は伯國に於て勞働し其貯蓄を携へて歸國するもの多く、獨逸移民は其貯蓄を以て、伯國に於ける永住の資に投じ、初には先づ家屋を建築し荒蕪地を買入れて之れが開墾を爲し、次で蔬菜耕作、牧畜鶏をなす等其經營凡てこれ永住的なり、獨立的なり、されば獨逸移民は契約移民として來る者全く之れなく、自由任意の移民たり。

彼等の伯國に到るや多くは囊底餘財なきものなれば、各自其勞働の

口を求むるに當りて、先づ既に久しく伯國に移住して土地の情況に通ずる同國人に依頼するを常とす、而して其依頼を受けたる獨逸人は新來移民をば一々懇に世話して、初めには之を舊獨逸移民家々に分配し、壯丁は山林、牧畜、蔬菜耕作又は家僕若しくは厨人の下働等に口入れし、婦女は之を下女、洗濯屋又は牛乳搾取、配達其他婦女適當の用務に充てしむ、之れ新來獨逸移民は伯國語即ち葡國語に通せざるが爲めに、到着するや否や直に伯國人の使役に供するに不便なるを以てなり。此の如くにして五六ヶ月を経過するに隨て新來の移民も少しく伯語を解し且つは土地の事情にも稍々通するに至りたる後は、各自の隨意に其勞働口を求めしむ、若しそれ伯國到着の際尙ほ多少の資本を有する者にあつては、土地の情況に通曉せる同國人に就き、最初より土地又は家屋等を購入し、爾してその家族の者は買入れたる土地を開墾する者もあり、又は日傭として他人に使用せらるもあり、要するに其生計を營み尙

は多少の貯蓄を爲すに營々たり。

此の如く説き來れば不知案内の人は或は伯國に於ける移民が其労働を求むるの甚だ容易なるを訝るものあるべきも、事實は全く如此有様にて労働の口を求むるには極めて容易なるが如し、其の然る所以のものは前述せるが如く、人口稀少天然の良材佳木は到る所の山林に充ちて、樵夫の入るを待て、自然の灌漑に潤ひたる膏野は采粘を入れて開墾する者さへあらば、勞少くして功多き結果を興へんと待ちつゝあるが如き有様なれば之れが伐木耕作且つはその運搬に要する労働者は伯國の常に其欠乏に苦しむ所なればなり、されば其業を求むる此の如く容易なるに其賃銀は又た驚くべき程の高價なり。今左に其一班を擧げて他の類推の資に供せん。

料理人 男百、ミルレースより二百、ミルレース内外、食料主人持

女八十、ミルレースより百五六十、ミルレース内外

百、ミルレース、昨年頃までは凡我五十圓内外なりしも、現今は凡我七十圓なり。

園丁 百、ミルレース内外、食料同上

下男 百、ミルレース内外、同上

下女 百、ミルレース内外、同上

中働き女中 百、ミルレースより百五六十、ミルレース内外

同上

小間使女 百六十、ミルレースより八九十、ミルレース内外

同上

臺所下働き 男女三四十、ミルレース内外

田野労働者 一日五、ミルレースより七八、ミルレース

山林切出し労働者 同上

馬車の馭者 一ヶ月百五十、ミルレースより二百、ミルレース、食料

主人持

紡績所等の製織所職工 男、下等一日五「ミルレース」上等十二「ミル

レース」迄

女、下等一日三「ミルレース」上等七八「ミルレース」迄

雑用日傭男最低 五「ミルレース」

洗濯女最低 五「ミルレース」

店の賣子 男、百五六十「ミルレース」より三四百「ミルレース」迄

女、六七十「ミルレース」より百五六十「ミルレース」迄

一斑此の如し、其他の業務に従事する者又大低この比例なり。例へば
 語學教師の一週三時間にして、一ヶ月少くも百「ミルレース」以上、ピアノ
 の教師の如き一時間十「ミルレース」以上なりとす。此の如き有様なれば
 獨逸新來の移民にて少しく伯語を解するに至れば、労働を求むること
 極めて容易なるのみならず、其實銀所得如此く優なるが故に三四年若

しくは七八年労働の後には必ずや多少の貯蓄を爲し各一家を構へ、自
 立し家屋土地等の不動産を買入れ、自營するを常とす、これ獨逸移民の
 特色なり。如何となれば、彼等の希望は歐洲の他の移民の如く其貯蓄を
 携へて歸國するにあらず、最初より永住を目的とし、一點故國に還るの
 念慮なきものなるが故に其心掛け又た他の移民と異り、務めて伯國の
 言語風俗習慣に通曉し、又伯國人に對しても其交誼を厚ふし、行動着實
 勤勉經營するものなればなり。彼等の目的既に永住的なるが故に其經
 營に係るもの亦隨て永久的なり。されば獨逸移民の相集る處に於ては
 必ず獨逸學校あり、獨逸新聞あり、獨逸寺院あり、假令山間の僻村に於て
 も必ず獨逸俱樂部を立て、以て其合議談話遊戲の所と爲し、且つ以て
 強弱相扶け、親疎の相通するの機關と爲せり。現に當、ペトロホリス若し
 くは附近町村獨逸人の集れる所乃ち此の如し。獨逸の勞力は伯國に擴
 充するもの豈其故なしとせんや。

伯國「サンパウロ」州事情

一、「サンパウロ」州及「サンパウロ」市の發達

(當國は聯邦制にして、各州とも其憲法に依て大統領を選擧し、政府を組織し居るに付其發達均一ならず、而して「サンパウロ」州は最も發達し居るものと聞けり)

同州は伯國南部四州の一にして、南緯凡二十度より二十五度の間に涉り、氣候温和、面積凡二十六萬方「キロメートル」(本國の本州及四國を併せたるものと異同し)を有せり。本官(杉村公使)は汽車にて十二時間餘も内部に入り或は線路を替へ或は支線を追ふて見渡したるところに據れば、斯かる廣漠たる州内に於て高山なく、峻谷なく又平坦なる曠野もなく、州内の一般は大凡雜木林にて蔽はれたる百尺乃至四百尺の山丘に依て寛かなる波狀をなし、水流其間に縱横せり。故に州内は山となく谷となく

幾んど皆耕作すべく、居住すべき土地と認められ、又州の重要産物として、第一に數ふべきは珈琲にして其他甘蔗、棉、米、陸、水とも種々の農作物あり、加之各種の果樹に富めり、兩三年前の調査に依れば、世界の珈琲産出國が輸出する珈琲高は大凡千九百五十八萬包餘にして、其内千六百二十四萬餘包は伯國に屬し、尙其内千二百萬包は「サンパウロ」州の産出に係ると云ふ。

州内鐵道縱横に通し、此處彼處に新市邑勃興し中には人口に二三萬に及ぶものあり、州内に電燈を用ふる市邑は二十餘に及ぶと聞く、各耕地に使用する數十萬の耕作者(半小作人)は伊國人最も多く其他獨、西、葡、澳及瑞西の移民にして、多くは相當の貯蓄をなし其業を樂み居るもの、如く見受らる。

又州の首府「サンパウロ」市は巴里府に模倣して建設せし市府にして、現今の人口三十五萬と稱するも、市街の美麗、商業の繁昌は蓋し當

國第一ニ居るべく、是より瀟車にて二時間半を経て海岸に下れば〔サンパウロ〕市は六百メートルの高地にして、州内各地多くは高地に位せり〔サントス〕港に次で天然の便利を得たる外に設備も幾んど完了し、當國第一の良港と認む、税關の収入は、リオ、デジャネーロ港に次で第二位に居るも、輸出は第一位を占め、全國三億五千餘萬弗の輸出中〔サントス〕港は一億千五百萬弗の輸出を占めたり、以て其商業の盛大なるを證すべし。

一、〔サンパウロ〕州に對する我移民並貿易開始に關する見込

同州に對する我移民は土地及氣候の關係重なる州民の歡迎並歐洲移民の成績に徴すれば、移民の働き次第にて必ず成功すべき見込にして特に同州は先年來移民に關し伊國と葛藤を生じ、伊國政府は契約移民の輸入を禁止し、又同州の官民も伊國移民を嫌惡して、永く之を排斥せんとする傾向なれば、旁々以て切に日本移民を歡迎せん

とする有様明なり、但移民の方法は、従前我移民會社等が經驗したる契約移民と異なれば、此點に關しては我從來の方法を變更せざる可からず、當州は永住的家族連れ移民を希望して、出稼的勞働者を好まず、聞く所に依れば亞爾然丁國も同様なるが如し、(大越前任公使の報告に徴しても明なり)故に南米の太西洋岸に向て、契約移民の口を求むるは、到底不可能の事と覺悟せざる可からず、若し之ありとせば、護謨採收若くは鑛山採掘等極めて不利なる場合に過ぎざるべきに依り、我國は將來當方面に移民せんとせば、其地方の希望に應じ其慣例に従はざる可らざるは勿論なり、最も當初試験の際には別段の約束も成立するならん、又隨意移民は歐洲人にして始めて成功すべきも、日本人には不可能なりと考を懐くものあるも、是は誤解にして初めて渡航したる歐洲移民を見るに其無智貧困なる有様は蓋し日本移民以下にあるが如く、當州政府は歐洲移民に向て、相當條件の下に旅費を辨償し、官費にて之

を耕地に導き就業せしむるものなれば、移民は一の資本なく又他の智識なく、本来の農民にして唯働きさへすれば自己等の家族を養ひ若干年の後は立派なる家産を作り得る仕組と聞及べり。其方法は幾様にもあれば追て委しく報告せん、又商業の如きも當州は金融裕かにして、生活程度高く(人口二百五十萬にして一億千五百萬弗の輸出を爲すに付州民の富裕なること以て知るべし)州民は我絹物類を始として其他の特産品を渴望する有様なり、又輸出品に於て棉花、牛皮、羊毛又は肉類等に就て之を求めば必ず有利のものあるべく、是亦當業者の勉強次第にて必ず成立すべき見込なり、商品の調査に關しても夫々依頼し置きたれば追て詳報せん、尙商業は獨り同州に止まらず、サンパウロ市を中心として、當國の各地に取引を擴張すべきは勿論なり、各國の商社も多く本店を同市に置くやに聞知せり。

右移民及商業の成立に關しては、第一の急務として日、伯兩國間に航路を開くことを必要と認む。航路開通せざれば、右の二業とも完全

に成立すべき見込無く、若し本邦より南米の太西洋岸に向て俄かに航路を開き難きに於ては、切めては南米の太平洋岸智利の「ヴァルパライソ」港迄航路を開くも宜敷からん、然るときは、二週一回英國の太平洋汽船航海會社船に連絡して、太西洋沿岸に達するを得るなり、此航路一度び開けなば、南米の兩洋沿岸孰れの地に向ても移民を送り通商を開くを得べしと考へらる、尙は茲に特記すべきは「サンパウロ」は當國中最も進歩したる州にして、將來發達すべき餘地充分なれば、資本家又は地主は熱心に移民を歓迎し、移民に對し政府より旅費の全部又は幾部を辨償する慣例なるは本州の特色とす。

右は「サンパウロ」州の視察より意見を立てたるものにして、此後他州又は他國の視察を遂げたる上は多少變更を生ずるやも計り難けれども茲に其概要を報告することとせり。

「サンパウロ」州に於ける移民情況總説

南米と云へば一般に未開にして蠻風を脱せざる國土の如く思惟せる本邦人蓋し少しとせざるべし。然るに伯刺西爾の南部に於ける「サンパウロ」州の首府「サンパウロ」市は其人口三十五萬を有し、其市の廣袤は十八キロメートル、三十二キロメートルにして、佛都巴里と相匹敵し、北米の大都市に於ける如く、天に聳ゆる大厦高樓なしと雖も、市の中央は三層若くは四層の巨屋櫛比し、四邊の場末は二層又は平屋相連り、兎に角巴里大の面積を蔽ふを見る、故に高に登て之を望むときは卷首掲載の寫眞(寫眞は略す)の如く極目家屋にして、幾んど歐洲の大都にも譲らざるの觀あり、而して其間に電車馳せ、馬車走り、電信電話の線は電車の線と相交錯して滿天蛛網を張るが如く、數萬の電燈は肩摩鼓擊の夜を照して晝の如く、其繁榮は熱鬧の程度も歐洲第二流の都會と伯仲の間

に在るが如し、加之同市住民の大多數は白人にして、當國北部に於けるが如く黑人を視ること甚だしく、隨て百事進歩的にして北部の人情と其趣を異にせり。南米諸國豈一概に未開視するを得けんや、而して同市如上の繁榮は僅に三四十年以來の發達たるが故に歐洲諸國の市都の繁榮の既に爛熟若くは枯渴の境に瀕したるもの、比にあらずして當市の繁榮の發達は恰も少年の進境に在るが如く、其迅速にして且活潑なる幾んど其底止する所を知らざるの思あらしめたり。右の如く同市をして俄に發達せしめたるは、一に廣大なる内地事業發達の反響にして、内地事業の發達は一般に氣候溫和、土地豊穰なるは言ふ迄もなく殊に同州内は珈琲の栽培に適する特種の地形、地味及氣候を具備するに原因するものと認めたり、仍て今少しく内地の情況に説き及さん

沃野千里極目無際なる語は本邦に於ては關東又は濃尾の廣野も之

に當るに足らずと雖も、サンパウロ州の内部は實に沃野千里極目無際にして、本官等が急行する汽車にて一直線に十二時間を走りたるも猶之を極むる能はざりき、而して其極目涯なき千里の沃野は珈琲、甘蔗、米及綿花の耕作に好適するのみならず、牛馬鶏豚の牧畜飼養に好適するが故に比較的勞力を費すこと少くして、効果を收むること多く、手を下して耕耘し又は牧養さへすれば必ず相當の收穫利益を得ざるなしと、去れば内地の發達は仲々侮る可からずして、鐵道縱横に通じて、交通運輸の便を助け、今や其延長併せて三千七百七十キロメートルに達し、而して鐵道附近に勃興する新市邑亦尠ならずして、内には人口四五萬を有するものあり、州内電燈を用ゆる市邑既に二十二箇所に及ぶと云ふを以て見るも、其發達の程度如何を推考するに余りあり、而してサンパウロ州が一般に如此長足の進歩發達を盡したる所以の原因は、是全く外國移民の力なりと云はざる可からず。州政府が多年來巨額の資金

を投じて移民の招來を勉むる所以知るべきなり。

「サンパウロ」州の地理、風土

位置 「サンパウロ」州は伯國の中央以南に位し、「グリーンヴィッチ」起點西經四十七度より五十二三度の間に在り、南緯二十度に起り二十五度に至りて盡く。

面積 二十六萬キロメートル平方にして北海道、九州、台灣を除ける本邦より廣きこと尙幾キロメートルなり。然るに其人口は僅に二百五十七萬のみ、故に之を一キロメートル平方に見積るときは其住民僅に九人強の割合に過ぎず（我邦人口は二キロメートル平方百十三人の割合なり）。

氣候 伯刺西爾と云へば、世人は概して炎熱堪ゆ可からざる處の如く想像するは大なる誤なり。當國北部赤道附近に在りては、護謨の好産

地たる「アマゾン」「パラ」二州の如き、若くは其附近「ベルナムアゴ」「バイア」等に在りては炎熱の度稍々甚しきも、赤道を去る南方二十余度の遠きに在る「サンパウロ」州の如きは其温度融和にして、炎熱を感ずること薄し。然れども伯國の冷温は必ずしも經緯度に依りてのみ断定す可からず。「サントス」港と「サンパウロ」市の如きは、汽程僅かに二時間の距離に過ぎざるに拘はらず。「サントス」港に於ける炎熱と「サンパウロ」市並に其内部諸邑に於ける冷涼とは實に甚しき相違あればなり。概して海濱の低地は炎熱にして内部の高地に入るに随ひ大に冷涼なりと知る可し。

「サンパウロ」州は其内地に入るに随ひ、海面を抜くこと五百乃至七百「メートル」の高さに在り。「サンパウロ」市の如きは七百五十「メートル」に在りて、冬期に於て寒暖計稀に攝氏零度以下に降ることあり、夏期に於ては三十五度を超ゆることなしと云ふ。今「ジェルメン」「ダンヌシー」氏の十二年間の統計に據れば、夏期最も暑き時に於ても日影に於ては決して

三十度を超ゆることなく、其一年の平均を見るに、海濱に於てすら二十三度にして、高地に於ては十九度なり。尙内地珈琲園所在の地にては冬期間々降霜を見ることありと云ふ。

雨量 十年間の平均に依れば、年平均一千五百「ミリメートル」なり。之を要するに「サンパウロ」州の温度は、歐洲南部の氣候と殆んど同一にして、但し南歐諸國に於けるが如く、冬期に於て激烈なる沍寒と、夏期に於ける酷暑との無きは、當「サンパウロ」州の大に優れりとす。所以なりと云ふ。當州に於ける歐洲諸國の移民が能く其勞働に堪へ、氣候風土に關して、一言の不滿を口にせざるもの、蓋し之が爲めなり。

地味 當州の地味は極めて膏腴にして、珈琲其他諸作物の耕作に、曾て肥料を要せずと云ふ。佛國地質學者の調査に依るに、土壤は深く地下二十三「メートル」の厚きに達するを以て、到所の土地皆耕耘に適す。而して其最も珈琲の栽培に適する所以は、其氣候酷熱ならず又寒冷ならず

地味は鐵分を含み、地勢は拔海四百、メートル乃至一千、メートルの高さにして、其凹凸起伏及其波動傾斜の程度、特に珈琲栽培に適合し、北部「バイヤ」地方にても、珈琲を栽培すれども酷熱にして、成熟不揃なり。又珈琲樹は痛く霜害を恐ると云へり、他國又は、伯國內の他州に比較すれば其勞少くして其收穫多きが故に競ふて、珈琲を栽培せりと云ふ。乍去其地味が強ち珈琲のみに適せりと云ふにあらすして、能く甘蔗、米、棉花、玉蜀黍、馬鈴薯、甘薯並に諸種の果物の栽培にも適合するを以て、近年此等諸作物の耕作大に發達し、現に或地方に於ては精米所にて粗米を精げ又我三十萬圓程の巨費を投じて、精糖所を建築し居るを目撃せり。

「サンパウロ州」に於ける移民の必要

「サンパウロ州」が受くる天然の惠澤は、前に略述せしが如く、其氣候地味共に珈琲、其他米穀、甘蔗、綿花等の耕作に適合し、就中珈琲の栽培に適

することは、世界中第一位を占むるは右の産額に依りて見るも明かなり、蓋し世界に於ける珈琲の産額は、大凡千九百五十萬袋なり、然るに、其大部分たる千六百二十四萬餘袋は、當伯國の産出する所にして、其内千二三百萬袋は現に當「サンパウロ州」の産するものたり、伯國税關の收入高を見るに、當州の港口「サントス」は、リオ、デ、ジャネーロ港に次で伯國中の第二にあり、而して其輸出高は伯國港中の第一位を占む、即ち全伯國の輸出三億五千餘萬弗中「サントス」港の輸出する所實に一億千五百餘萬弗にして、而も其最大部分を占むるものは即ち珈琲なりとす、去れば従來は珈琲栽培の利益大なること他の諸作物栽培の利益に數倍したりしかば、州民一般偏に珈琲の栽培のみに務めて、又他を顧るに違あらざりし有様なりしが、四五年前に至り、珈琲の産額剰多の爲め遂に、世界の消費高に超過するに及び、茲に珈琲價額の暴落を來して、所謂珈琲恐慌の時代となり、小耕主等は間々勞働者の賃銀を支拂ふこと能はざる

者さへあるに至れり、是に於てか従前にありては、年々幾萬を以て數ふる程なる。歐州移民の渡來頗に減少し、且つ州政府も亦從來給與せし、移民渡航費を中止し、加之従前伯國への移民供給國の第一位を占めたる伊國政府は或る事情に依り、伊國移民の渡航を禁止し、三十五年四月十五日以後、今尙其禁を解くに至らず、然るに近來に至り、珈琲價格は稍々上騰し、市場漸く好況を告ぐるに至り、加之ならず四五年以來州政府が頻りに指導獎勵せし、多種耕作の方策は近時漸く州民一般の歸向する所となり、甘蔗、米作若くは、線花耕作等に從事するもの多きに及び、是に至りて同州は復た頓に移民招來の必要を感ずること急なるに至れり、依て州政府は一時中止したる移民渡航費を復活し、昨年既に、西班牙、葡萄牙、及埃國より渡航補助金を與へて、七千五人の移民を招來し、今年に至りては更に西、葡兩國の移民一萬人を招來せしが爲めに、同州々會は之が補助費を可決せり、今其渡航補助金の割合を見るに、左の如し。

自十二歳至四十五歳男女一人に付

英貨五磅乃至六磅

十二歳以下七歳迄の男女一人に付

同二磅十志乃至三磅

州政府が斯の如き渡航補助金を與へて以て、移民の招來を爲すより見ても如何に同州が、労働者の必要に迫るやを知る可し、而して同州が移民を要する所以の理由當に一二に止まらず、其重なるものを擧ぐれば

第一、珈琲栽培労働者の欠乏。

第二、甘蔗、米、棉花等の耕作労働者の欠乏。

第三、未墾地開拓労働者の欠乏。

第四、家族的永住移民の欠乏。

右の内第一、第二に就ては前段既に述べたるを以て、今第三以下の理由を略述せん。

前にも既に云へるが如く、同州の氣候、地味は諸種の耕作物に好適し、珈琲、米、甘蔗、綿花等は云ふも更なり、甘藷、馬鈴薯、小豆、豌豆等の諸作に適合

し特に玉蜀黍の如きは、年四回の收穫を爲すを得、而かも土壤の膏腴なる嘗て肥料を施すの要なしと云ふ、而して其收穫なるもの實大にして粒多く我邦禾穀の到底比較すべきにあらず。甘薯、馬鈴薯等は、一根にして能く頭大なる、四五の實を結ぶを見るもの特に珍となすに足らず、天然の惠澤此の如くなるを、單に労働者欠乏の爲め、内地の過半特に鐵道交通の便ある處に於てすら、尙空しく雜草の繁茂に委せらるゝの廣地其幾十方里なるを知らずと云ふ有様なり、是れ「サンパウロ」州官民が移民招來を必要とする理由の一なり。

第四の理由、今を距ること十八年前「ペドロ」二世皇帝の時黒奴を解放したるが爲めに、地主等は、大に労働者の欠乏に苦み、俄に従前の黒奴の勞働に代ゆるに、白人の出稼移民を以てせり、然るに其出稼移民特に伊太利、葡萄牙、西班牙等より來りし者等は、兩三年若くは四五年間伯國に居りて多少貯蓄を爲すときは、之を携へて多くは歸國するもの甚だ妙

なからず、如此にして伯國の富の一部は毎年必ず、外國人の懐に入りて伯國を逃れ出でたり。加之彼等は最初より土着の念なき者なるが故に永久的經營を爲して、伯國の國富を増進するが如きことには、毫も着手する者なく、只だ眼前一時の利益を獲得せんことにのみ之れ力めて、伯國が必要とする。人口増加には何等裨益する所なかりき、去れば近年に至り官民共に、茲に着眼するに至り、従前は移民に土地を讓與することなかりしが、兩三年以來政府も、人民も共に土地を移民に讓與、若くは賣渡して以て之が土着を奨励することゝはなれり。特に現農務長官「カルロス・ボッターリヨ」氏は右移民土着制度の發案者なるが、其熱心と精勵とを以て頻りに、大地主等を説諭し遂に今日に至りては、州の輿論をして全く一時的出稼移民を好まずして、家族的永住移民を擇ぶに至らしめたり、是一時出稼的移民には自然壯男獨身多く、而して獨身者は其去就定りなきも、反之家族的移民には比較的土着永住する者多く、正に伯國

(六三)

が要する所の、人口増加の條件に恰當すればなり、是實に近時伯國移民
撰擇方針の一變として見て可なり、即ち「サンパウロ」の官民は今や移民
に向て實に勞働を求むるのみならず、亦た人口増加を求むることゝは
なれり、而して右土着永住移民所謂眞の移民の開始として、同州大統領
は去五月三日、露西亞移住民の爲めに新「オデッサ」と名くる殖民區を新
設して之に關する勅令を發布せり、右勅令は今後尙陸續新設せらる可
き殖民區設定の例範となる可きやに思考せらる。

珈琲、耕地及移民生活の情況

「サンパウロ」と云へば伯國に於ては、同時に珈琲を聯想せざるを得
ざらしむる程、珈琲の好産地として聞ゆる地方なれば、其珈琲耕地の廣
濶なるは先づ想像するを得べし、就中「サンパウロ」市を距ること、北方氣
車程三時間半に在る「カンピナス」以北は同州中特に珈琲産地として、名

(七三)

高き程ありて、北行十二時間餘氣車の通過する所其遠近に於て必ず、珈
琲園を見ざるはなく殊に「サンパウロ」を距ること四百二十三キロメー
トルの北方内地にある「リベラオン、プレート」地方に於ては、極目無涯
に廣濶なる地は之れ盡く珈琲栽培畑にして四方滿目只だ整然たる珈
琲園のみにて、人は恰も珈琲海中に在るが如し、此地方に在りては一園
主にして一萬エクター以上、以上の珈琲耕地を有するものありと云ふ、若
し夫れ八七千エクターより、五六千エクターの所有者に至りては
固より屈指に違あらず。

「サンパウロ」州に於ける珈琲耕主の數は大小併て一萬五千にして
其所有地積四百二十九萬エクターなり、而して其重なるものは多く
は「リベラオン、プレート」の附近に在りと云ふは如何に珈琲耕地の廣
大なるかを推知し得べし、珈琲主として知られたる獨逸人「シユミツド」
の耕地及有名なる「サントス、ジユモン」の耕地も亦皆「リベラオン、プレ

(八三)

トールに在りシユミツドの耕地は周圍七十五キロメートルにして珈琲樹三百萬株を有す耕地は之を十區に分ちて、一區凡五六十戸の移民を有せり、其隣地シユモンの耕地は輕氣球發明者として有名なるサントス、シユモンの父祖の所有たりし、耕地にして、今は英國合資會社の有に屬し其面積一萬三千エーカーあり珈琲樹五百萬株勞働者五千人を有すと云ふ。

本官がリベラオン、プレートールに於て視察せる耕地は、パノポリズと稱し、リベラオン、プレートールを西南に距る凡氣車にて一時半程の所に在りて、農業合名會社に屬す其面積五千エクターにして之を八區に分ち各區毎に一人の監督者を置けり、其勞働者は八百五十の家族にして人數併せて三千人なりと云ふ。此の如き耕地前後左右相聯續す、滿目只だ珈琲園たるの理由以て解すべし。

扱珈琲耕地の大小廣狹は上述の如く相異なりと雖も、其組織は殆んど

同一なり、左に其概略を説かん。

耕地の中央に當る所には必ず、其園主の家若くは差配所あり、耕地總監督の住宅にして則ち耕區に於ける一切の事務を總轄する所なり、故に遠近の耕區に來住するの道路、一として皆此處に集まらざるものなし、是珈琲收穫の際に於て、遠近各區の珈琲を一所に集むるに便せんが爲めなり、例へば各區の耕地は車の輻の如く、此中央の地は猶其軸の如し各輻皆此に集中す、去れば其家の周圍に水車仕掛の珈琲精撰所及廣濶なる乾燥所あり、厩と牛舎とは珈琲倉庫と相並び、農具の修繕、製作を爲す鍛冶場、大工場又之と檐を聯ぬ、而して其家宅の前園後庭には野菜圃と、果林とあり、是れ園主自家の用に供するものたり、耕地は其地勢に従ひ之を分て、區となす其大なる區に在りては五六十の家族にて其耕區の珈琲樹培養を負擔する者あり、小なる區にありては七八軒の家族なるものあり、如此耕區を分ち各所に散して、移民の家屋を建つる所以は

(九三)

移民をして可成其受持珈琲樹の近隣に住居せしめ受持所への往來に便せんが爲めなり、每區は概して國を同ふする家族移民を以て組織するを常とす例へば甲區は伊太利人のみより成り、乙區は奧太利人のみより組織するが如し。去れば伊太利人より成る耕區に奧國人の家族を見ること極めて稀なり。是言語、風俗、習慣、感情等を同ふするものを可成一區に集めて以て移民諸般の便益を計るに出でたるのみならず、每區必ず移民監督人なる者ありて此も多くは、其耕區の移民と同一國人を以て充つるが故に若し一區をして、異なる國民より組織する時は監督者の勞極めて多かるべきを以てなり、他日若し日本移民にして當國に來るものある場合に當りても、亦必ず此例に従ふべきを以て、日本移民の住する一區は宛然たる日本村の觀あるべし、而して右移民監督人は固より耕主の費用を以て雇入るゝものにして之が月給等は其監督受持移民家族の多寡又は耕區の大小等に依て差等あるも、中には一ヶ月

「コント五百」ミルレース(凡我千五十圓)を受くる者ありと云ふ。此地方に於ける大なる珈琲園は必ず鐵道の通過する附近に在り、蓋し是等鐵道を布設するに當り、成可珈琲園の附近を通過せしむるの方針に出でたるもの、如し、去れば前陳の珈琲園の如き孰れも鐵道線路の附近に在り、而して各珈琲園は其最近の停車場より其園に至るの間に輕便鐵道を布設して以て、珈琲の運搬、勞働者等の往來に便す、加之此等の輕便鐵道は珈琲園の各區を通貫し、而して悉く中央事務所の前に輻輳すること恰も光線の太陽に於けるが如し、本官の視察せし合名會社耕地に於ける輕便鐵道の延長は合せて二十六「キロメートル」なりと云ふ以て如何に其大仕掛なるを推知するを得べし、若し夫れ小耕地に在りては最近停車場に通ずる幅廣き道路を設け、且つ耕地内には車行し得べき路を縦横に造り以て、運搬交通皆牛馬車に依るを得せしむ。

移民の家屋 移民の家屋は各耕區中に於て中央監督所への交通に

便にして、且つ居民等用水等の爲め最も好都合の場所をトして、建築せらるゝ一区内の家數多きは五六十に至り、少きは七八軒なるものあり然れども概して十五六より二十三四戸迄の區を最も多しとす。而して此等の家屋は全く無賃にて雇主より移民に貸與する所なり、家屋は粗造なる煉瓦造りの平屋にして二軒續きの長屋作りを最も多しとす、固より多人數の家族を有する者に在りては一軒立ちの家屋を有するとも、是れ寧ろ稀なるが如し。

間敷の多少大小は又家族の多少に随ひ同じからずと雖も、概して臺所兼食堂と寢室との二た間に過ぎざるが如し、而して母屋の後方には必ず物置小屋あり、是移民各自收穫物の貯藏所にして移民の自ら作りし者なり、而して其材用は耕地内の樹木にして雇主より無代價にて與ふる者なりとす。其他移民の使用に供する薪炭等の用材も亦全く之に全く耕區の附近に於ける樹木は一切移民の用ふる儘に委して少しも

其代價を拂ふを要せずと云ふ。

各戸の後方又は家の附近に於て、移民等の自家用料に充つる野菜畑及家畜の飼養所あり、此等の地面は無代價にて移民が借受くるものにして、中には廣地を借入れ諸種の野菜を作り、又は鶏、豚、牛、羊等を飼養せる者あり、此等は獨り自家用のみならず羊、豚、鶏、鷺及鶏卵、牛乳等を其附近に賣らんが爲めなり、右等の収入は全く移民等が珈琲栽培賃銀以外の所得なりとす。

各珈琲區内には未墾地尙多きを以て、此等土地の使用に付ては實に寛大にして移民等が自力にて開墾せし、地所は全く無代にて自由に使用し得ると云ふも過言にあらざるべし。

家屋の近隣には小流あり移民が家族の洗濯用には十分なり。

要するに此等移民の住所、家屋共に之を本邦の小作人等のものに比すれば大に優れりと云ふを得べし。

移民の食物移民の食物を説くに當り、先つ一言すべきは伯國に於ては米を以て日常食物中欠くべからざるものと爲すこと之なり、故に此は本邦移民の爲めには大に都合宜しとする所なり、其他玉蜀黍の粉、パン小豆と米と乾牛肉とを煮たるもの、并に甘薯及其他の野菜類は移民等日常の食物にして、魚類にして労働者の膳に上り得るものは、干鱈なり右の内最も多く用ふるものは、小豆と米と乾牛肉を熟煮したる食物なりとす、是其滋養分多く其價尤も廉なればなり、其他羊、豚、鶏、鴛等は各自飼養するが故に食用に充つること甚だ容易なり、移民は各戸別厨を有し各々所好に隨ひ自家の培養せる野菜、玉蜀黍、小豆等を常食とすれば外に費用を要せざるべし、水は谿間又は耕地内を流るゝ清泉を飲用す間々井を穿ち、又は山腹を鑿り樋を以て引水するものあり、孰も清冷にして飲用に適す。

無一文の移民か初めて到着したる最初一年、若くは半年間の食料は雇

主より之を貸與し次期の收穫期に至り、移民等各自の耕作より得たる原料又は其代價を返納せしむるものとす、而して右の返納は移民に取り甚だ困難ならずと云ふ、何となれば同州に於ては玉蜀黍又は甘蔗の如きは年四回の收穫あるを以て短期間に於て既に多少の所得あればなり食物も亦其家屋同様當州に於ける、移民は本邦の小作人よりは稍々優れるものと云ふを得べし。

移民の衣服 衣服に就ても又移民等の爲め大に便利あり、夫は前章に述べたる如く、當州の氣候は四時概して温暖にして夏冬の差異甚しからざるを以て所謂冬期に於ても綿入の如き、厚着の要なく爲めに、本邦又は北支那、朝鮮等に於けるか如く各季節毎に着換等を要するの煩累なくして年中大低單衣と、裕衣程にて十分なりとす、殊に、伊太利移民等は質素儉約にして僅に二三枚の労働用服を補綴洗濯して、年中同一衣を用ふるものゝ如し、而して移民の労働用服は概して厚地木綿のシ

「ヤツ」(ズボン)のみ若し夫れ祭日休暇等の際に於ては、晴着として通常の洋服を纏ふ者あるも此亦甚た粗末にして多くは綿服なり。一般伊國移民等は生計極めて質素儉約故多少の貯蓄をなし得たる後にも尙孜々として勤勞し、衣服飲食の贅澤などは更に思ひ及ばざるが如し。靴なども通常は廉價なる木履にして皮靴を穿つは極めて稀なり。勞働に従事する時は勿論家居の時にも先づ大抵は跣足なるを常とす。

序に移民衛生の事を一言せんに、此等の地方には絶て地方病なるものなく流行病又甚た稀なりと云ふ、二三十年前にありては、時々疫病の流行することありしも、州政府が特に衛生事務に改良を加へ多費を惜まらずして、水道井に下水工事を完成せし以來流行病は今や全く跡を絶つに至りたりとて、此地方人士の最も誇稱する所なり、況んや此等地方は海面を抜くこと五百乃至七百「メートル」の高さに在る所にして、且つ四時緑葉鬱叢の間に家し、其勞働亦戶外に於て空氣の新鮮なる所に耕作

するを以て、自然健康に資し病者を生ずること極めて少なしと云ふ、現に前陳「ボエノポリス」に於ける如きは八百五十家族三千人ノ移民中二ケ年間醫師を要するが如き病者を出さずとて、其地方の健康に適すること證明せり。又盛夏に於ても日射病に罹る程の暑氣なく、且又乾燥なるが故に未だ曾て脚氣病に罹りし者なしと云ふ。然れども普通の胃病、寒胃、便秘、頭痛、切創又は隅々毒虫に刺されたる者あるが如き場合には、移民が地主の宅に馳付て之が適藥を請へば雇主は無代にて之を與ふるを常とす、去れば地主等は移民等不時の需要に應ずるが爲め平生此等の藥品を貯へ置けりと云ふ。

地主と勞働者との關係 常に勞働者の欠乏に苦む此等地方にありては、地主は平生自己の勞働者か其耕地を去りりて、他の耕圃に就くを恐れて之を寛待すと云ふ本官の目撃する所に依れば、其間至極融和せるものゝ如きも寛苛の事は地主、又は監督人等の性質にも依るものな

(八四)

れば一概には斷言し難きも、移民を歐打鞭撻するが如きは今や全くなき所なりと云ふ。

「ブラジル」に渡航せんとする者は（参考）

我移民界の功勞者元皇國殖民合資會社水野龍氏は、ブラジル國の有望なるに着眼し、率先全國に渡航し、實地情況を踏査し、全國サンパウロ州政府と移民契約を締結し、移民輸送を始め第二回移民以後は、高知縣多額納稅者貴族院議員竹村與右工門氏全事業を繼承し、本年にて第五回移民を輸送せり、其成績良好にて全國よりは非常に歓迎を受け、移民も又年々送金せる額多大なり。

全國渡航希望者は、竹村殖民商館に申込まるべし、概況左の如し希望者は左記照會せらるべし。

仕事

(九四) 勞働の種類は珈琲採收の其栽培に従事するものにして、至て簡易なる

(〇五)

農事にて十二才以上なれば、採收に就ては殆ど一人前の働きを爲すことを得、尙耕主のために労働する外、珈琲樹間の間作又は其他の自作をなし得るの便あり。

契約期限

契約期限は通常一ヶ年半。

「サンパウロ」州政府補助金

「サンパウロ」州政府より左の通り補助金あり。

甲(満十二才以上)英貨八磅(凡我金七拾七圓七拾六錢)

乙(満七才以上十二才未滿)英貨四磅(凡我金參拾八圓八拾八錢)

丙(満三才以上七才未滿)英貨二磅(凡我金拾九圓四拾四錢)

申込所

(一五)

山口縣は 柳井町停車場通り

竹村殖民商館出張所

廣島縣は 福山町府中町

竹村殖民商館出張所

愛媛縣は 松山市港町四丁目福田旅館方

竹村殖民商館出張所

香川縣は 高松市驛前井戸屋旅館方

竹村殖民商館出張所

岡山縣は山口縣柳井町出張所へ照會あれ

309
327

大正二年十一月廿五日印刷
大正二年十一月三十日發行

正價金拾五錢
郵稅金貳錢

著者名方圭

廣嶋縣沼隈郡神村第六千八番地

印刷者岸幸彦

山口縣玖珂郡柳井町第參百九拾參番地

印刷所岸印刷所

山口縣玖珂郡柳井町第參百九拾參番地

山口縣柳井町停車場通本橋角

販賣所 谷成章堂

終

